

札幌市「ながら見守り活動」登録制度について

1 「ながら見守り」活動について

(1) 政府によるプラン策定、「ながら見守り」の推進

平成 30 年、新潟県で下校中の女兒が殺害された事件をきっかけに、政府が開催した「登下校時の子供の安全確保に関する関係閣僚会議」において「登下校防犯プラン」が策定された。

登下校防犯プラン抜粋

4. 多様な担い手による見守りの活性化

(1) 多様な世代や事業者が日常活動の機会に気軽に実施できる「ながら見守り」等の推進

見守りの担い手の裾野を広げるため、ウォーキング、ジョギング、買物、犬の散歩、花の水やり等の日常活動を行う際、防犯の視点を持って見守りを行う「ながら見守り」等を推進する。

(2) 本市の状況

「第 3 次札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等基本計画」内の、基本方針 2（みんなの暮らしを守るため、お互いに協力し支え合うまちをつくる）

ア 基本施策 1（地域における防犯活動の促進）

ウ 基本施策 3（地域と一体となった子どもの見守り）

の主な取組として、上記のプランの主旨に沿った「ながら防犯」を推進するための啓発・支援を行うこととしている。これに基づき、令和 4 年 6 月に札幌市「ながら見守り」活動登録制度を開始した。

申請は Web 上の登録フォーム又は申込書の提出により受け付けており、登録後には希望する啓発グッズを郵送している。

(3) 他都市の状況

「ながら見守り」について、登録制度を設けている 8 自治体に聞き取りを行った。（東京都足立区、栃木県佐野市、愛知県半田市、静岡県静岡市、大阪府大阪市東住吉区、京都府、京都府宇治市）

申請方法は Web、来庁などさまざまだが、いずれも申請時に身分証明を求めている。

また、佐賀北警察署では「ながら見守り」を行っていること目印としてリストバンドを配布しているが、氏名の聞き取りなどは行っていない。

2 今後の対応（案）

(1) 登録者に対し、定期的に犯罪の発生状況を周知するなどのアプローチを行い、登録者の防犯意識を高く保つよう働きかける。

(2) 町内会や PTA など、地域の団体単位での登録を希望する声が多いことから、団体ごとの登録を行えるよう検討する。